

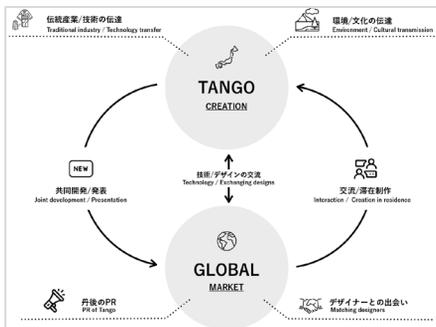
令和3年9月15日

地域ブランド支援、NEXT STAGEへ ～2ブランド（丹後織物、播州織）の追加&プラットフォームの充実～

近畿経済産業局は、2025大阪・関西万博を視野に、さらなる飛躍に挑戦する地域ブランドとして、新たに「丹後織物（京都府）」と「播州織（兵庫県）」を追加します。また、昨年度に選定した10の地域ブランドの中には、新商品開発段階に入った取組や、3年先を見据えた補助金の活用事例等も出てきていることに鑑み、地域ブランドのプラットフォームである、「地域ブランドネットワークサロン」をよりマーケティングを意識したものにステージアップします。

1. 2ブランドの追加について

丹後織物は、「TANGO OPEN」というブランドの発信や、「TANGO CREATION PLATFORM」など海外展開を視野にいれた取組を行っています。また、「播州織」では、若手織物人材によるオンリーワンのものづくりや、今秋に開催予定のオープンファクトリーフォーラムが話題となっています。このような地域の取組に加え、個々の事業者においても、経済産業省施策であるJAPANブランド育成支援等事業費補助金（以下、「JAPANブランド補助金」という。）を積極的に活用していることを踏まえ、支援モデルの地域ブランドに追加いたします。これにより支援モデルとなる地域ブランドは12となります。＜資料①＞



TANGO CREATION PLATFORM【丹後織物】



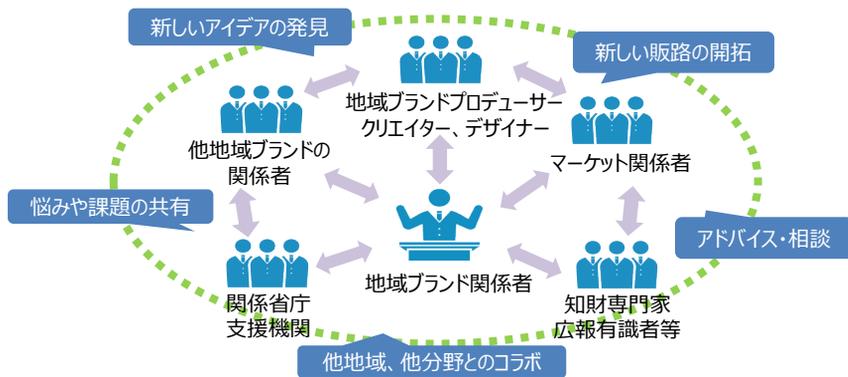
若手織物人材育成の様子【播州織】

近畿局の支援モデルとなる地域ブランド

- ◎ 鯖江のめがね（福井県）
- ◎ 泉州タオル（大阪府）
- ◎ **播州織（兵庫県）**
- ◎ 信楽焼（滋賀県）
- ◎ 三木の酒米等（兵庫県）
- ◎ 奈良酒（奈良県）
- ◎ 和束茶（京都府）
- ◎ 丹波篠山の黒大豆等（兵庫県）
- ◎ 広陵くつした（奈良県）
- ◎ **丹後織物（京都府）**
- ◎ 淡路島の食と香り（兵庫県）
- ◎ 和歌山ニット（和歌山県）

2. プラットフォームのステージアップ

地域ブランドのプラットフォームである「地域ブランドネットワークサロン」は、昨年度、様々な「つなげる」を実現しました。今年度はより具体的に、これまでのブランディングのサポートによって生まれた試作品や事業のアイデアについて、商品化や販路開拓につながるビジネスマッチングを行うとともに、3年先をターゲットとしたマーケティングにもつなげていきます。また、サロンの場でのコラボレーションにより、新事業進出や販路開拓等にかかる公的支援が必要な場合は、国の出先機関や支援機関等の施策の中から、適したものとつなげていくなど引き続きシームレスな施策支援も行っています。＜資料②＞



地域ブランドネットワークサロンの概要



昨年度の地域ブランドネットワークサロンの様子

3. 背景にある、万博への機運の高まりとブランド支援の成果

昨年10月に選定した10のモデルとなる地域ブランドにおいては、ブランド価値の再考や新商品開発につなげている事例（※）も誕生しています＜資料③も参照＞。また、8月31日に採択発表を行ったJAPANブランド補助金では、3年先の海外展開を見据えた地域ブランド関係の提案＜資料④＞もあり、万博を見据えた新たな市場獲得が期待されます。こうした事業者の取組を踏まえ、当局の地域ブランド支援も、これまで以上にマーケティングを意識した内容にシフトチェンジしていきます。

（※）泉州タオルの事例

泉州タオルでは、製造事業者を中心とするメンバーで協議を重ね、新たなブランド理念「水とともに生きる 泉州タオル」を打ち出しました。現在では、新たなブランド理念を踏まえた試作品開発が進められています。



泉州タオルのブランディング会議の様子

4. 今後の展望

新たな2ブランドの追加や地域ブランドネットワークサロンの機能強化、JAPANブランド補助金の採択者にみる海外への販路開拓の意欲など、地域ブランドを取り巻く事業者等の取組、施策ニーズはますます高まりつつあります。「つなげる」をこれまで以上に効率よく効果的に進めていき、2025大阪・関西万博に向けたブランドの高付加価値化、さらに地域全体の大きな機運醸成となることを目指します。

（本発表資料のお問い合わせ先）

近畿経済産業局 通商部 地域ブランド展開支援室 室長 谷原秀昭

担当者：魚井、矢野、田中

電話：06-6966-6054 FAX：06-6966-6087